

ことわざ

月 日

点

にた意味・反対の意味のことわざを□から選び、記号で書きましょう。

【にた意味】ア どうふにかすがい イ 弱り目にたたり目
ウ にとを追う者はいつともえず エ さるも木から落ちる

① かっぱの川流れ

② ぬかにくぎ

③ 泣きっ面にはち

④ あぶはち取らず

【反対の意味】ア 人を見たらどろぼうと思え イ せいては事をしそんじる
ウ 船頭多くして船山に上る エ あとは野となれ山となれ

⑤ 立つ鳥あとをにごさず

⑥ ぜんは急げ

⑦ 三人よれば文じゅのちえ

⑧ わたる世間におにはなし

ことわざ

こたえ

にた意味・反対の意味のことわざを□から選び、記号で書きましょう。

【にた意味】ア どうふにかすがい イ 弱り目にたたり目
ウ にとを追う者はいつともえず エ さるも木から落ちる

① かっぱの川流れ

エ

② ぬかにくぎ

ア

③ 泣きっ面にはち

イ

④ あぶはち取らず

ウ

【反対の意味】ア 人を見たらどろぼうと思え イ せいては事をしそんじる
ウ 船頭多くして船山に上る エ あとは野となれ山となれ

⑤ 立つ鳥あとをにごさず

エ

⑥ ぜんは急げ

イ

⑦ 三人よれば文じゅのちえ

ウ

⑧ わたる世間におにはなし

ア

ことわざ

月 日

点

ことわざの意味を、上の□のア～エから選んで記号で書きましょう。

- ア どんな所でも、なれると住みよくなる。
- イ 身近なことは、かえって気づきにくい。
- ウ 少しの助けでは、ききめがない。
- エ 少しのもので、大きなとくをする。

① 焼け石に水

② えびでたいをつる

③ 住めば都

④ 灯台もと暗し

- ア 間に合わず、手おくれになる。
- イ 顔や形が、とてもよくにている。
- ウ 知らないでいるほうが、心がおだやかだ。
- エ 元気をなくして、しょんぼりする。

⑤ 青菜に塩

⑥ 後の祭り

⑦ 知らぬがほとけ

⑧ うり二つ

ことわざの言葉を、じっさいの場面として思いうかべてみましょう。

ことわざ

こたえ

ことわざの意味を、上の□のア～エから選んで記号で書きましょう。

- ア どんな所でも、なれると住みよくなる。
 イ 身近なことは、かえって気づきにくい。
 ウ 少しの助けでは、ききめがない。
 エ 少しのもので、大きなとくをする。

① 焼け石に水

ウ

② えびでたいをつる

エ

③ 住めば都

ア

④ 灯台もと暗し

イ

- ア 間に合わず、手おくれになる。
 イ 顔や形が、とてもよくにている。
 ウ 知らないでいるほうが、心がおだやかだ。
 エ 元気をなくして、しょんぼりする。

⑤ 青菜に塩

エ

⑥ 後の祭り

ア

⑦ 知らぬがほとけ

ウ

⑧ うり二つ

イ

ことわざの言葉を、じっさいの場面として思いうかべてみましょう。

ことわざ

月 日

点

() に合うこじ成語を、上の口から選んで書きましょう。

他山の石 むじゅん 四面そか 五十歩百歩
さいおうが馬 漁夫の利 はいすいのじん だそく

- ① ぼくの点も弟の点も () だ。
- ② 言うこととすることが () している。
- ③ さいごの一文は () なので、けずろう。
- ④ けんかの間に、ほかの人が () をえた。
- ⑤ 負けたら終わり、() の気持ちだ。
- ⑥ まわりが反対ばかりで () だ。
- ⑦ 友だちのしっばいを () にする。
- ⑧ 人生は () で、先がわからない。

こじ成語は、中国の昔の話から生まれた言葉です。

ことわざ

こたえ

() に合うこじ成語を、上の□から選んで書きましょう。

他山の石 むじゅん 四面そか 五十歩百歩
さいおうが馬 漁夫の利 はいすいのじん だそく

- ① ぼくの点も弟の点も () だ。
- ② 言うこととすることが () している。
- ③ さいごの一文は () なので、けずろう。
- ④ けんかの間に、ほかの人が () をえた。
- ⑤ 負けたら終わり、() の気持ちだ。
- ⑥ まわりが反対ばかりで () だ。
- ⑦ 友だちのしっばいを () にする。
- ⑧ 人生は () で、先がわからない。

五十歩百歩

むじゅん

だそく

漁夫の利

はいすいのじん

四面そか

他山の石

さいおうが馬

こじ成語は、中国の昔の話から生まれた言葉です。